



さりげない安心と感動する制動を

2020年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2019年11月13日
曙ブレーキ工業株式会社

- 事業再生ADR手続成立について
- 2020年3月期 第2四半期実績
- 2020年3月期 業績見通し
- 添付資料

※2020年3月期第2四半期連結累計期間（2Q）：

(1)北米・中国・タイ・インドネシア：2019年1月1日～2019年6月30日

(2)日本・欧州：2019年4月1日～2019年9月30日

事業再生ADR手続成立について

当社及び当社子会社6社は、産業競争力強化法に基づく特定認証紛争解決手続(事業再生ADR手続)の下、事業再生計画案の策定を進めてまいりました。

この事業再生計画案につきまして、9月18日に開催しました債権者会議で全てのお取引金融機関の皆様にご同意をいただき、事業再生計画が成立し、事業再生ADR手続が完了いたしました。

株主の皆様、お取引金融機関をはじめ関係者の皆様には、多大なご負担とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。

今後は事業再生計画を確実に遂行し、当社グループの事業再生の実現と持続的な成長に向けグループ一丸となって取り組んでまいります。

今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業再生ADR手続成立について

経緯のご報告

- 9月18日 事業再生計画案の決議のための債権者会議の続会
全お取引金融機関の皆様の同意を得て事業再生ADR手続が成立
- 9月27日 臨時株主総会
①定款一部変更、②第三者割当によるA種種類株式の発行、
③資本金及び資本準備金の額の減少、④取締役選任
に係る各議案が原案どおり承認可決
- 9月30日 ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第弐号投資事業
有限責任組合(JISファンド)からの出資の払込手続の完了
新経営体制の発足
- 10月18日 株式上場時価総額審査の終了(東証より上場維持の発表)
- 11月12日 継続企業の前提に関する注記の記載の解消

事業再生ADR手続成立について

金融支援の概要

債務免除

- 借入先：お取引37金融機関
- 債務免除額：総額560億円(対象債権全額の52.5%)
- 債務免除日：9月27日(効力発生日)

債務残高の維持

- 債務免除後に存続する債務(支援後債務)については、債務の弁済に関する計画を除き、事業再生計画の計画期間末日である2024年6月30日までの間、元本残高を維持し、同日における支援後債務の残額を同日に一括返済する

※詳細は、東証開示資料「[「事業再生計画」の株式会社東京証券取引所への提出に関するお知らせ](#)」(9月18日付)、[「債務免除益にかかる特別利益の計上に関するお知らせ](#)」(9月27日付)をご参照ください。

事業再生ADR手続成立について

資本金、資本準備金及びその他資本剰余金の額の推移

- 9月30日付で、JISファンドから第三者割当増資によるA種種類株式の払込を受けた結果、資本金が100億円、資本準備金が100億円増加し、9月末(2Q末)において資本金が299億円、資本準備金が100億円となった
- 9月27日開催の臨時株主総会の決議により、12月31日付で資本金が100億円、資本準備金が100億円減少し、12月末(3Q末)において資本金が199億円、その他資本剰余金が200億円となる予定

単位:億円

		9月30日		12月31日(予定)	
	残高	増減	残高	増減	残高
資本金	199	+100	299	△100	199
資本準備金	0	+100	100	△100	0
その他 資本剰余金	0	0	0	+200	200

事業再生ADR手続成立について

事業再生計画の骨子

1. 経営体制の強化

- 社内取締役2名及び社外取締役3名にて取締役会を構成
- JISファンドから執行役員の派遣を受け入れ、JISファンドによる構造改革のモニタリングを実施

2. 事業構造改革

- 全拠点・事業部門において、できる限り早期の赤字脱却を目指し、聖域なき構造改革を実行することにより、黒字化を実現する
- 中長期的な成長を実現しながら事業再生計画を完遂するために設備投資を行う

3. 財務体質健全化

- バランスシートの再構築を図り、財務体質健全化のため、関係者の皆様からご協力をいただく（第三者割当増資及びお取引金融機関からの金融支援、お客様からのビジネス面でのご協力、遊休資産・余剰資産の売却等による資金繰りの改善）

事業再生ADR手続成立について

事業再生計画における経営数値

単位:億円

事業再生ADR手続基準

事業再生計画における経営数値は、事業再生ADR手続基準に定める資産評価に基づくものであり、企業会計基準の数値とは異なる点にご留意ください。

	19年3月期 実績	20年3月期 計画	21年3月期 計画	22年3月期 計画	23年3月期 計画	24年3月期 計画
売上高	2,437	2,050	1,577	1,286	1,249	1,280
営業利益	2	42	54	85	89	100
経常利益	△ 28	22	40	71	75	86
当期純利益 ^{*1}	△ 808	549	41	70	53	63

企業会計基準

	19年3月期 実績	20年3月期 計画	21年3月期 計画	22年3月期 計画	23年3月期 計画	24年3月期 計画
売上高 ^{*2}	2,437	2,050	1,577	1,286	1,249	1,280
営業利益	2	28	54	84	88	99
経常利益	△ 28	4	34	65	69	80
当期純利益 ^{*1}	△ 183	—	—	—	—	—

^{*1} 親会社株主に帰属する当期純利益

^{*2} 事業再生計画における経営数値であり、業績予想値とは異なります。2020年3月期の業績見通しはP27以降に記載しています。

事業再生ADR手続成立について

事業再生計画における経営数値

単位:億円

営業利益

	19年3月期 実績	20年3月期 計画	21年3月期 計画	22年3月期 計画	23年3月期 計画	24年3月期 計画
事業再生ADR 手続基準	2	42	54	85	89	100
企業会計基準	2	28	54	84	88	99
差	△ 0	△ 14	△ 0	△ 1	△ 1	△ 1

営業利益の差異要因

事業再生計画における経営数値は、国内事業規模最適化のための国内生産拠点の縮小・再編を見込んで、19年3月期に固定資産の減損損失を計上した場合の数値となっていますが、減損損失を20年3月期2Qに計上したため、20年3月期の営業利益の見通しには、減価償却費の影響による14億円の差異が生じています。また、減損損失金額に差異が生じたことにより、22年3月期以降に若干の差異が生じています。

事業再生ADR手続成立について

事業再生計画における経営数値

単位:億円

経常利益

	19年3月期 実績	20年3月期 計画	21年3月期 計画	22年3月期 計画	23年3月期 計画	24年3月期 計画
事業再生ADR 手続基準	△ 28	22	40	71	75	86
企業会計基準	△ 28	4	34	65	69	80
差	△ 0	△ 18	△ 6	△ 6	△ 6	△ 6

経常利益の差異要因

9月18日の事業再生ADR手続成立後、同月26日までの間に、お取引金融機関の皆様から具体的な債務免除対象債権の指定をいただき、対象債権及び債務免除額が確定いたしました。これにともない金融費用が確定したため、20年3月期の経常利益の見通しには差異が生じています。

事業再生ADR手続成立について

事業再生計画における経営数値

単位:億円

親会社株主に帰属する当期純利益

	19年3月期 実績	20年3月期 計画	21年3月期 計画	22年3月期 計画	23年3月期 計画	24年3月期 計画
事業再生ADR 手続基準	△ 808	549	41	70	53	63
企業会計基準	△ 183	—	—	—	—	—
差	625	—	—	—	—	—

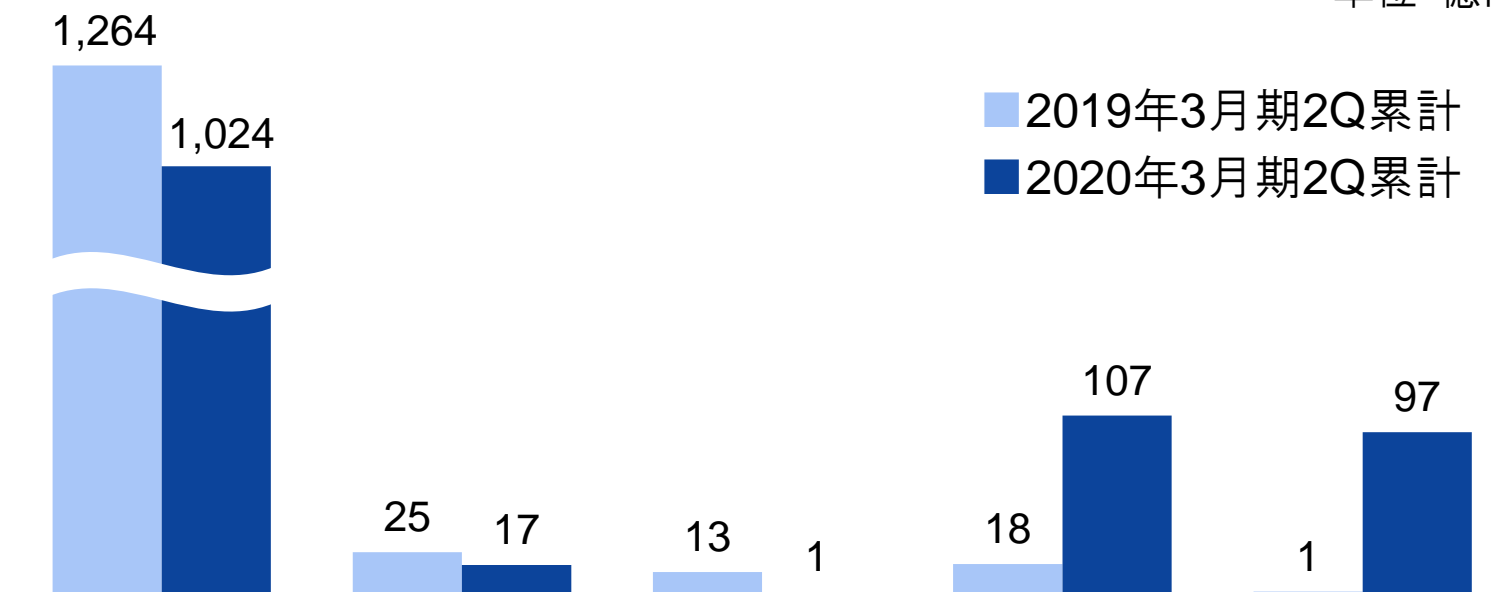
親会社株主に帰属する当期純利益について

事業再生計画の下、事業再構築のための各施策を実行してまいります。各施策の具体的実行計画や実施時期等は、新経営体制の下で再度精査することとしており、現時点で特別損益の予想が見通せないため、20年3月期以降の親会社株主に帰属する当期純利益は未定とさせていただきます。

2020年3月期 第2四半期 実績

第2四半期累計 連結業績(対前年同期)

単位:億円



	売上高	営業利益	経常利益	税前提四半期純利益 ^{*1}	四半期純利益 ^{*2}
19年3月期2Q累計	1,264	25	13	18	1
20年3月期2Q累計	1,024	17	1	107	97
前年差	△ 241	△ 8	△ 12	+ 89	+ 96

^{*1} 税金等調整前四半期純利益

^{*2} 親会社株主に帰属する四半期純利益

第2四半期累計 連結業績の概況

売上高

北米の主要な完成車メーカーにおいて当社製品採用車のモデルチェンジにともない受注を逃したこと、また、日本における主要な完成車メーカーからの受注減少や中国での生産が減少したこと、当社製品採用車の生産打ち切りなどの影響もあり、1,024億円(前年同期比19.0%減)となりました。

営業利益

日本において労務費や経費削減などの効果があったものの、北米及び中国での受注減少による影響が大きく、17億円(前年同期比30.4%減)となりました。

四半期純利益*

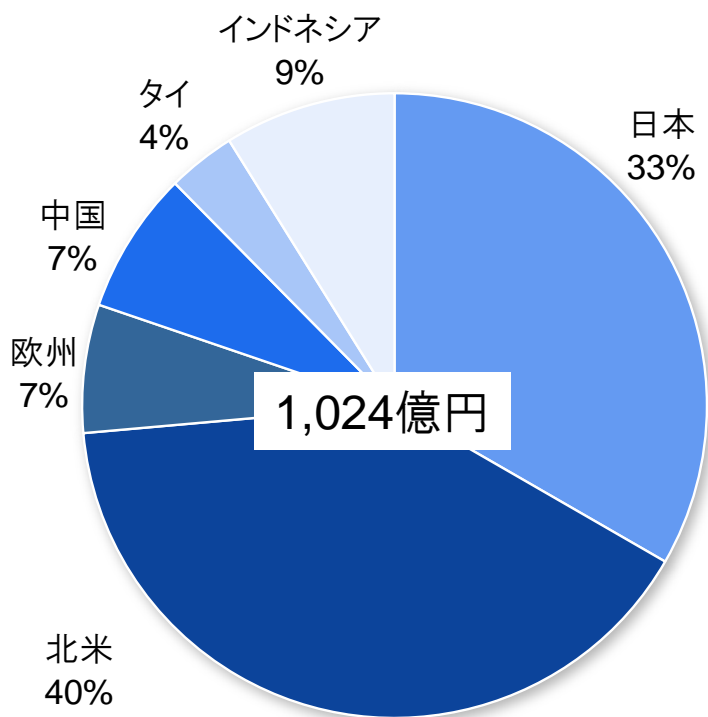
1Qにリコール関連損失78億円を計上したことに加え、2Qにお取引金融機関からの債務免除益431億円の特別利益を計上し、一方で日本を中心とした固定資産の減損損失240億円や、事業構造改善費用12億円(1Qに5億円、2Qに7億円)等の特別損失を計上したことにより、97億円(前年同期は1億円の利益)となりました。

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

第2四半期累計 地域別売上高

単位: 億円

2020年3月期2Q累計実績

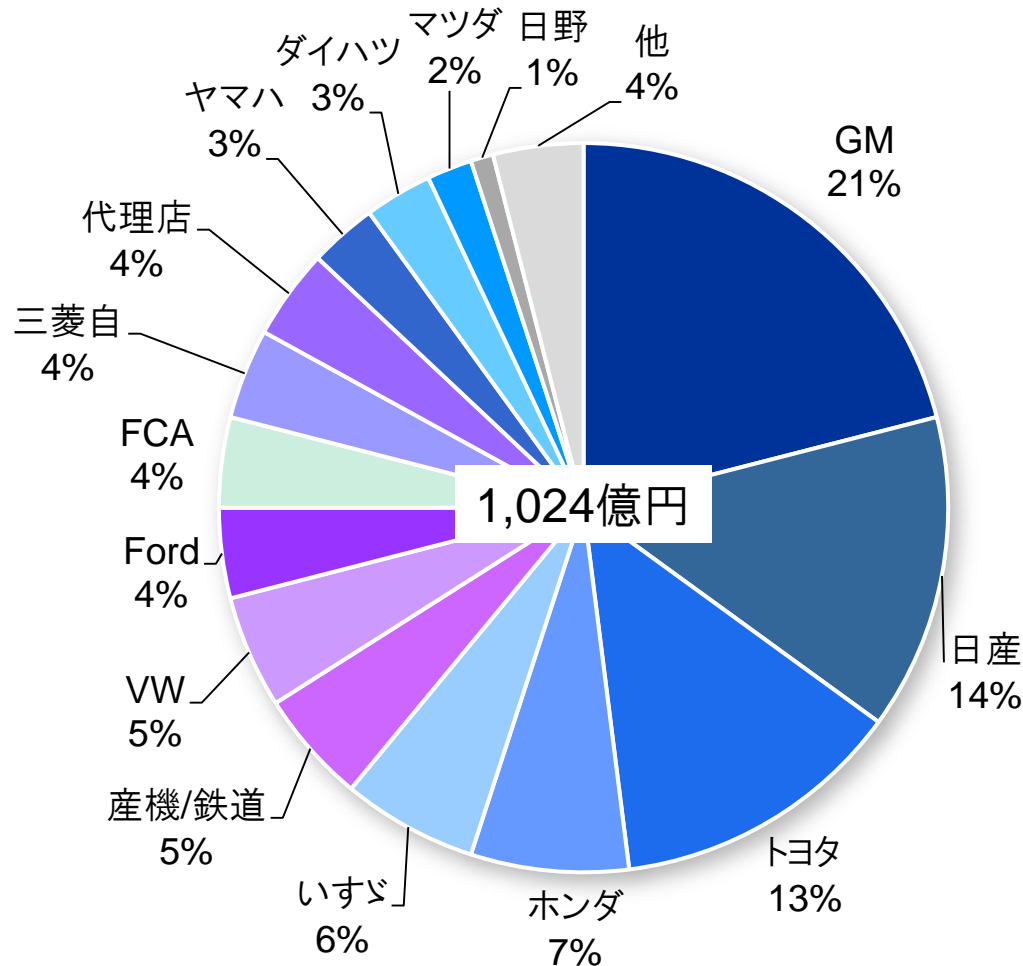


	19年3月期 2Q累計	20年3月期 2Q累計	差	為替 換算 影響
日本	390	367	△ 23	-
北米	637	443	△ 194	+ 6
欧州	83	73	△ 9	△ 5
中国	112	81	△ 31	△ 4
タイ	41	39	△ 2	+ 1
インドネシア	100	98	△ 2	△ 1
アジア計*	253	218	△ 35	△ 4
小計	1,363	1,101	△ 262	△ 4
連結消去	△ 98	△ 77	+ 21	-
合計	1,264	1,024	△ 241	△ 4

* アジアは、中国、タイ、インドネシアの単純合算

第2四半期累計 お客様別売上高比率

2020年3月期2Q累計実績



	19年3月期 2Q累計	20年3月期 2Q累計
GM	27%	21%
日産	14%	14%
トヨタ	10%	13%
ホンダ	7%	7%
いすゞ	5%	6%
産機/鉄道	4%	5%
VW	4%	5%
Ford	5%	4%
FCA(旧Chrysler)	4%	4%
三菱自	4%	4%
代理店	3%	4%
その他	13%	13%
合計	100%	100%

第2四半期累計 地域別業績(対前年同期)

単位: 億円	売上高				営業利益			
	19年3月期 2Q累計	20年3月期 2Q累計	前年差	為替 換算影響	19年3月期 2Q累計	20年3月期 2Q累計	前年差	為替 換算影響
日本	390	367	△ 23	-	△ 0	11	+ 11	-
米国	632	435	△ 197	+ 6	5	△ 11	△ 16	△ 0
メキシコ	6	9	+ 3	+ 0	△ 2	△ 1	+ 1	△ 0
欧州	83	73	△ 9	△ 5	△ 6	0	+ 6	△ 0
中国	112	81	△ 31	△ 4	12	4	△ 8	△ 0
タイ	41	39	△ 2	+ 1	2	2	△ 0	+ 0
インドネシア	100	98	△ 2	△ 1	12	11	△ 1	△ 0
アジア	253	218	△ 35	△ 4	26	17	△ 9	△ 0
連結消去	△ 98	△ 77	+ 21	-	2	1	△ 1	-
合計	1,264	1,024	△ 241	△ 4	25	17	△ 8	△ 0

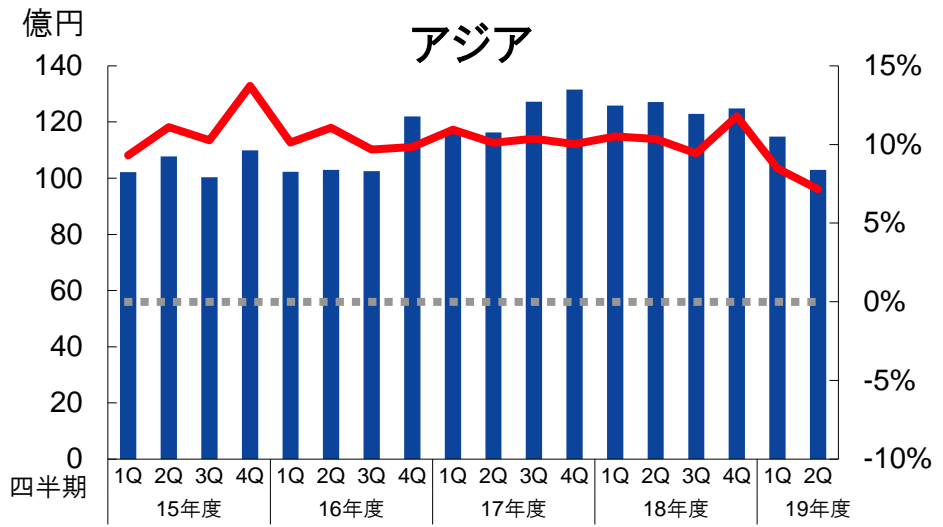
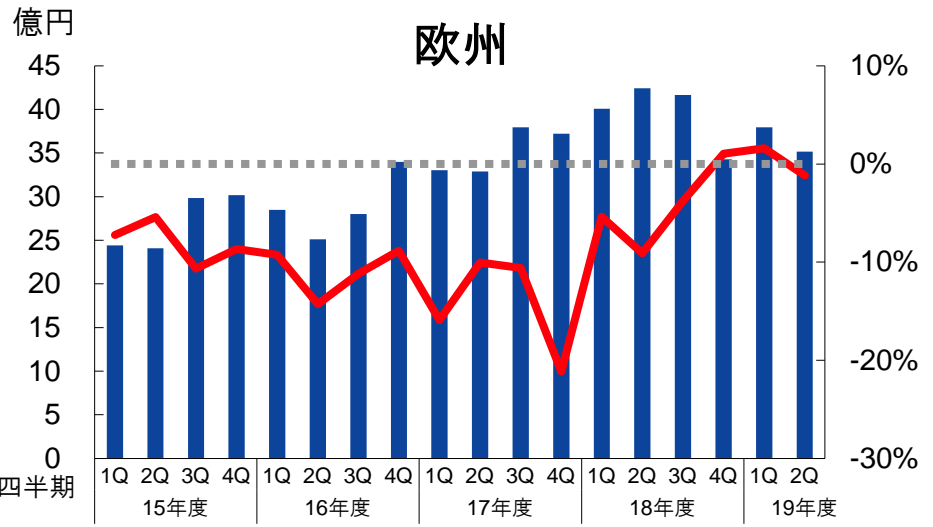
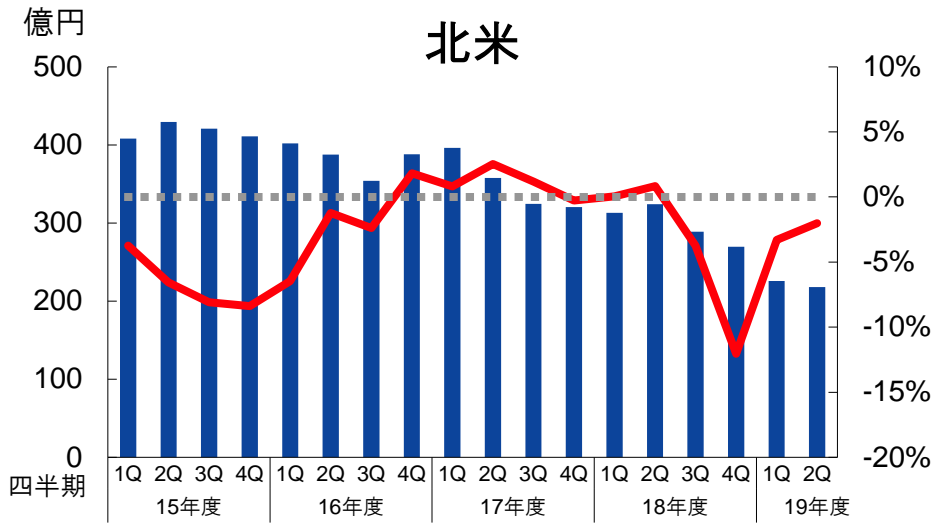
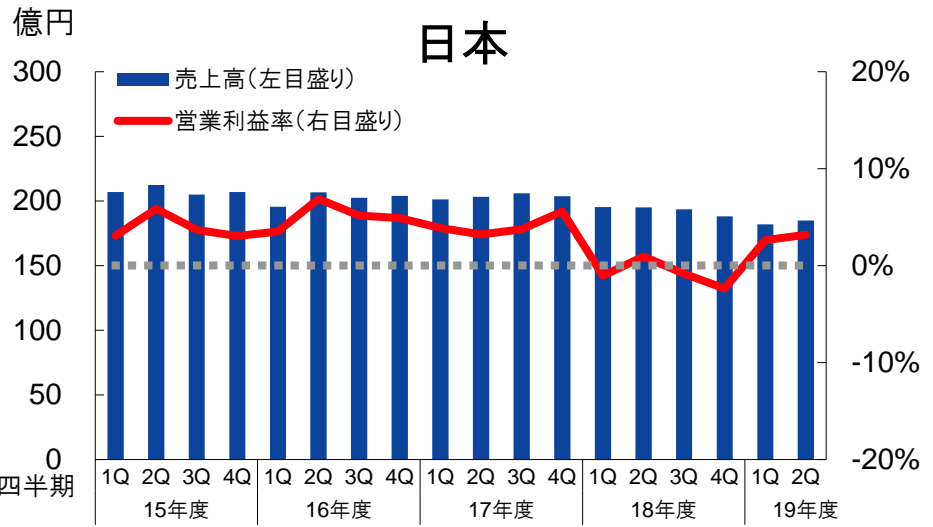
為替 USD: 108.5⇒110.0、EUR: 129.8⇒120.9、CNY: 17.0⇒16.2、THB: 3.4⇒3.5、IDR: 0.0079⇒0.0078

現地通貨ベース	売上高		
	19年3月期 2Q累計	20年3月期 2Q累計	前年差
米国: USD mil.	582	395	△ 187
メキシコ: USD mil.	5	8	+ 3
欧州: EUR mil.	64	60	△ 3
中国: CNY mil.	661	500	△ 161
タイ: THB mil.	1,201	1,116	△ 86
インドネシア: IDR bil.	1,260	1,253	△ 7

営業利益		
19年3月期 2Q累計	20年3月期 2Q累計	前年差
4	△ 10	△ 14
△ 2	△ 1	+ 1
△ 5	0	+ 5
73	25	△ 48
71	60	△ 11
147	141	△ 6

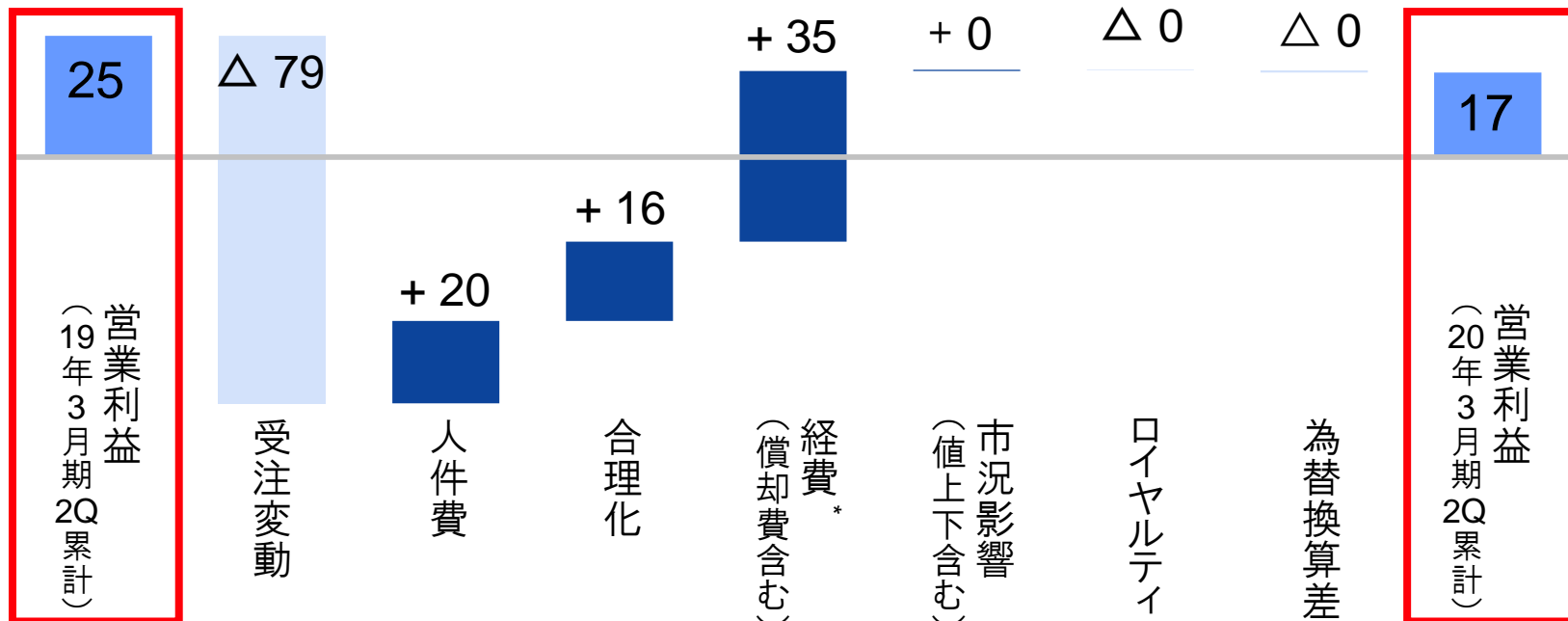
地域別業績の推移

四半期ごとの売上高と営業利益率



第2四半期累計 営業利益増減分析(対前年同期)

単位:億円



日本	Δ 0	Δ 12	+ 13	+ 3	+ 11	+ 1	Δ 5		11
米国	5	Δ 54	+ 6	+ 9	+ 22	Δ 2	+ 3	Δ 0	Δ 11
メキシコ	Δ 2	+ 1	Δ 0	+ 0	Δ 1	+ 1	Δ 0	Δ 0	Δ 1
欧州	Δ 6	+ 1	+ 1	+ 2	+ 2	+ 0	Δ 0	Δ 0	0
アジア	26	Δ 14	Δ 0	+ 2	+ 1	+ 0	+ 2	Δ 0	17
連結消去	2	Δ 1							1

* 経費には開発費用を含む

第2四半期累計 営業利益から四半期純利益まで

2019年3月期2Q累計 主な勘定

営業利益	25	
営業外収支 Δ 12		支払利息 Δ 10 為替差損益 Δ 0 受取配当金 +2 その他 Δ 3
経常利益	13	
特別損益 + 5		投資有価証券売却益 +5 固定資産売却却損益等 Δ 1
税前四半期純利益*1	18	
		法人税・住民税・事業税 Δ 10 法人税等調整額 Δ 0 非支配株主四半期利益 Δ 6
四半期純利益*2	1	

*1 税金等調整前四半期純利益

*2 親会社株主に帰属する四半期純利益

2020年3月期2Q累計 主な勘定 単位:億円

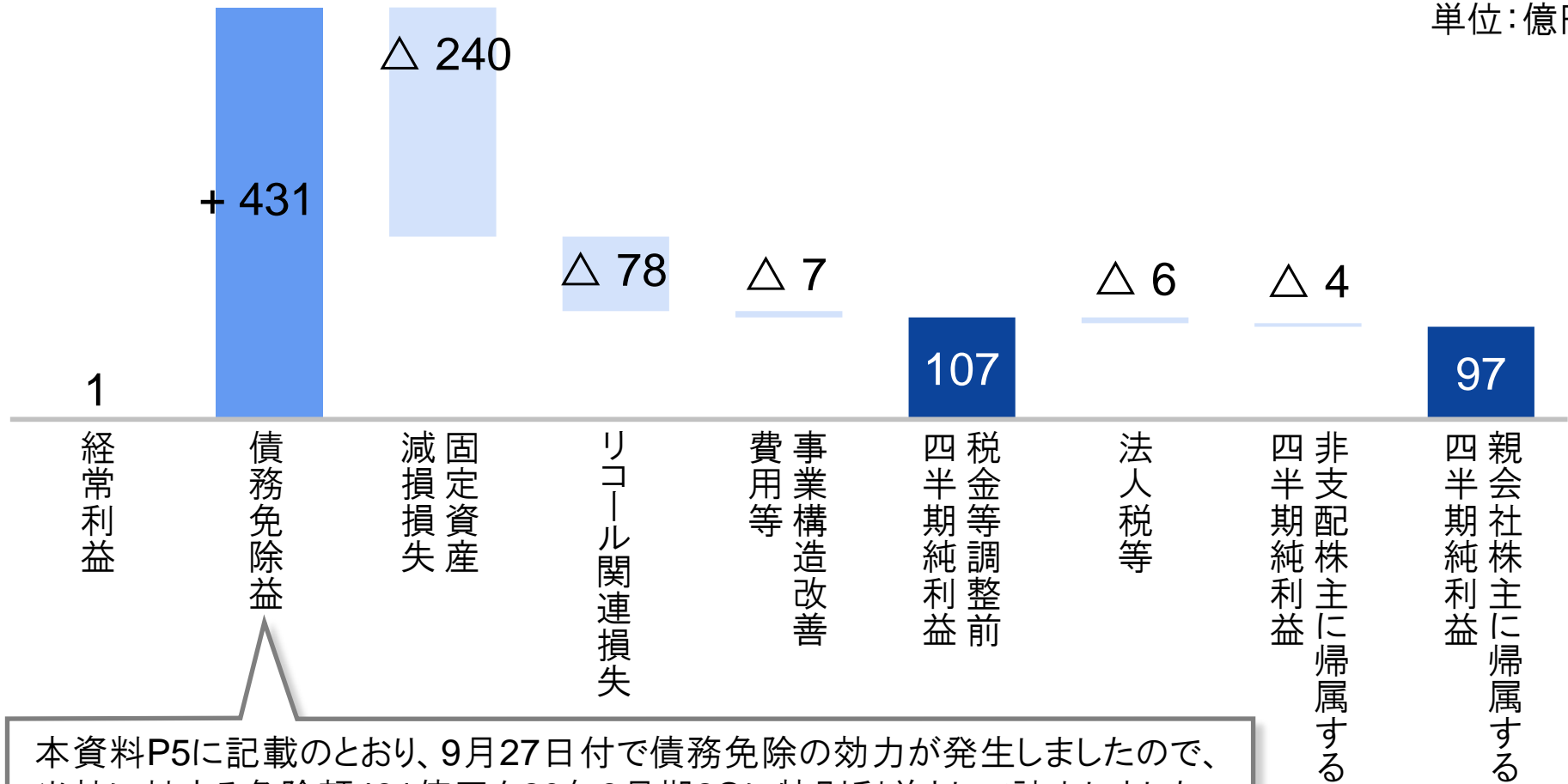
営業利益	17	
営業外収支 Δ 16		支払利息 Δ 10 為替差損益 Δ 3 受取配当金 +1 その他 Δ 4
経常利益	1	
特別損益 + 106		債務免除益 +431 固定資産減損損失 Δ 240 リコール関連損失 Δ 78 事業構造改善費用等 Δ 7
税前四半期純利益*1	107	
		法人税・住民税・事業税 Δ 7 法人税等調整額 +1 非支配株主四半期利益 Δ 4
四半期純利益*2	97	

*1 税金等調整前四半期純利益

*2 親会社株主に帰属する四半期純利益

第2四半期累計 経常利益から四半期純利益まで

単位: 億円



本資料P5に記載のとおり、9月27日付で債務免除の効力が発生しましたので、当社に対する免除額431億円を20年3月期2Qに特別利益として計上しました。北米・中国の拠点に対する免除額合計129億円は、3Qに特別利益として計上する予定です。

連結貸借対照表(対前期末)

単位:億円

資産の部	19/3 期末	20/3期 2Q末	前期 末比	為替 影響	負債・ 純資産の部	19/3 期末	20/3期 2Q末	前期 末比	為替 影響
流動資産	708	844	+ 137	△ 10	流動負債	1,101	665	△ 436	△ 14
現金及び預金	188	364	+ 176	△ 1	仕入債務	244	211	△ 33	△ 4
売上債権	330	299	△ 31	△ 6	有利子負債	699	239	△ 460	△ 8
たな卸資産	161	149	△ 12	△ 3	その他	158	214	+ 57	△ 2
その他	28	32	+ 4	△ 0	固定負債	506	516	+ 9	△ 3
固定資産	978	723	△ 254	△ 8	有利子負債	438	458	+ 20	△ 3
有形固定資産	859	609	△ 251	△ 7	その他	69	58	△ 11	△ 0
無形固定資産	16	10	△ 5	△ 0	負債合計	1,607	1,180	△ 427	△ 16
投資有価証券	52	54	+ 2	-	純資産	79	387	+ 309	△ 1
繰延税金資産	5	5	+ 0	-	資本金	199	299	+ 100	-
その他	45	45	△ 0	△ 0	資本剰余金	-	100	+ 100	-
総資産	1,686	1,568	△ 118	△ 18	利益剰余金	△ 236	△ 106	+ 130	-
					その他	115	94	△ 22	△ 1
					負債・純資産	1,686	1,568	△ 118	△ 18

為替 USD:111.0→107.8、EUR:124.6→118.0、CNY:16.2→15.7、THB:3.4→3.5、IDR:0.0077→0.0077

総資産・自己資本・有利子負債・FCFの推移

	単位	2016年 3月期末	2017年 3月期末	2018年 3月期末	2019年 3月期末	2020年 3月期2Q末
総資産	億円	2,044	2,018	1,934	1,686	1,568
自己資本	億円	238	251	270	29	334
自己資本比率	%	11.6	12.4	14.0	1.7	21.3
有利子負債	億円	1,198	1,181	1,097	1,137	697
ネット有利子負債	億円	994	1,025	970	949	333
ネットD/Eレシオ	倍	4.17	4.09	3.59	33.05	1.00
フリー・キャッシュ・フロー	億円	△ 26	△ 17	83	19	△ 20

(税効果会計に係る会計基準の一部改正を2018年3月期に遡って適用しています)

第2四半期累計 研究開発費、設備投資・償却費

研究開発費

単位：億円 **2020年3月期2Q 先行開発案件**

	19年3月期 2Q累計 実績	20年3月期 2Q累計 実績	【参考】 20年3月期 通期計画
研究開発費*	53	44	80

* 製品の適用開発に関連する費用も含む

- ・新構造ブレーキ
- ・MR流体ブレーキ
- ・低環境負荷摩擦材向け材料
(植物資源(バイオマス)等)
- ・インフラ&モビリティ用ブレーキ
- ・センサー/計測技術

設備投資・減価償却費

単位：億円 **2020年3月期2Q 主要設備投資案件**

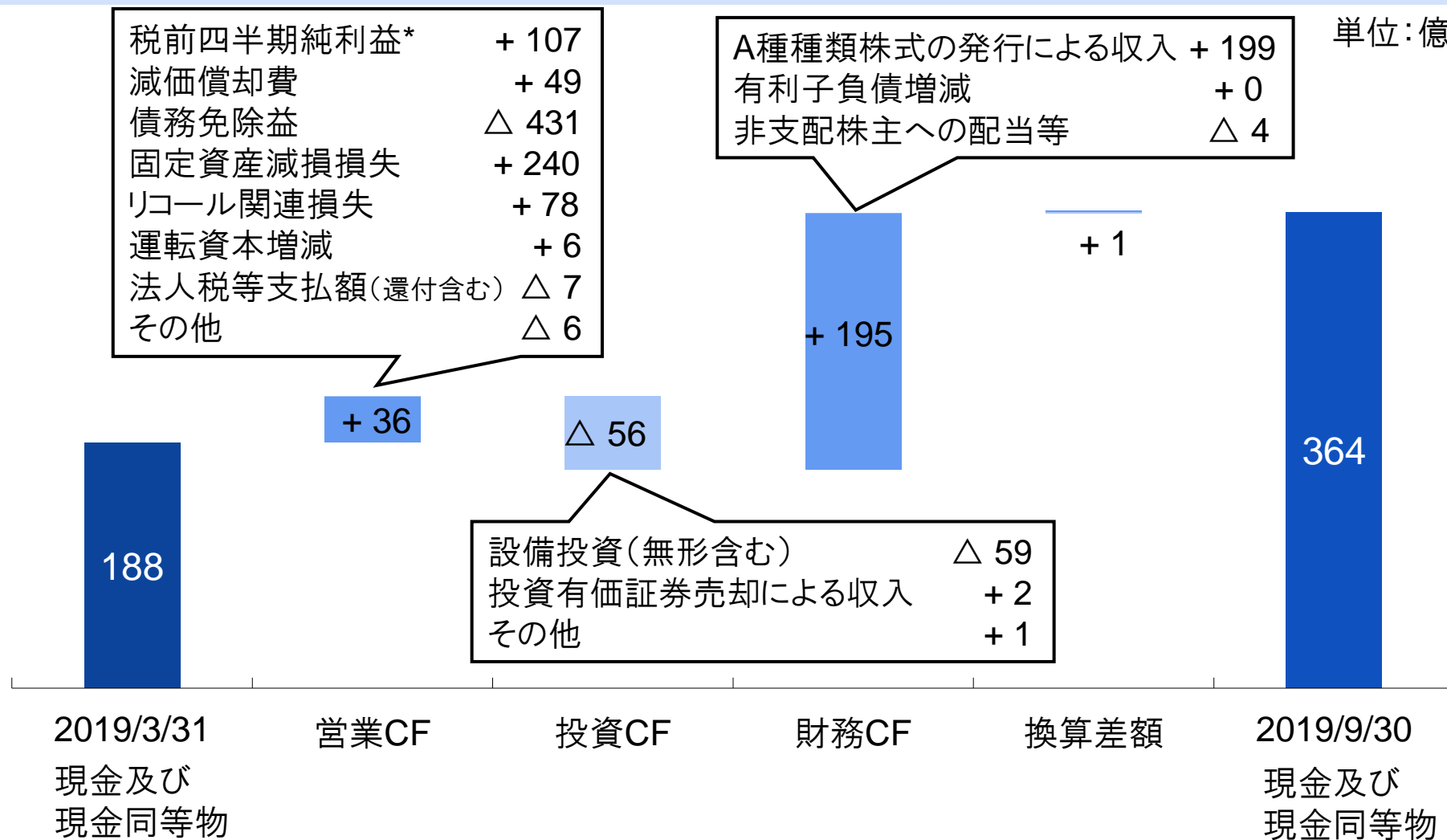
	19年3月期 2Q累計 実績	20年3月期 2Q累計 実績	【参考】 20年3月期 通期計画
設備投資	61	59	98
減価償却費	59	49	85*

* 減価償却費85億円に固定資産減損損失による減価償却費削減効果△9億円を含む

- ・新規受注対応設備
- ・環境対応、インフラ整備
- ・生産能力増強
- ・老朽化更新、生産性改善

第2四半期累計 キャッシュ・フロー

単位:億円

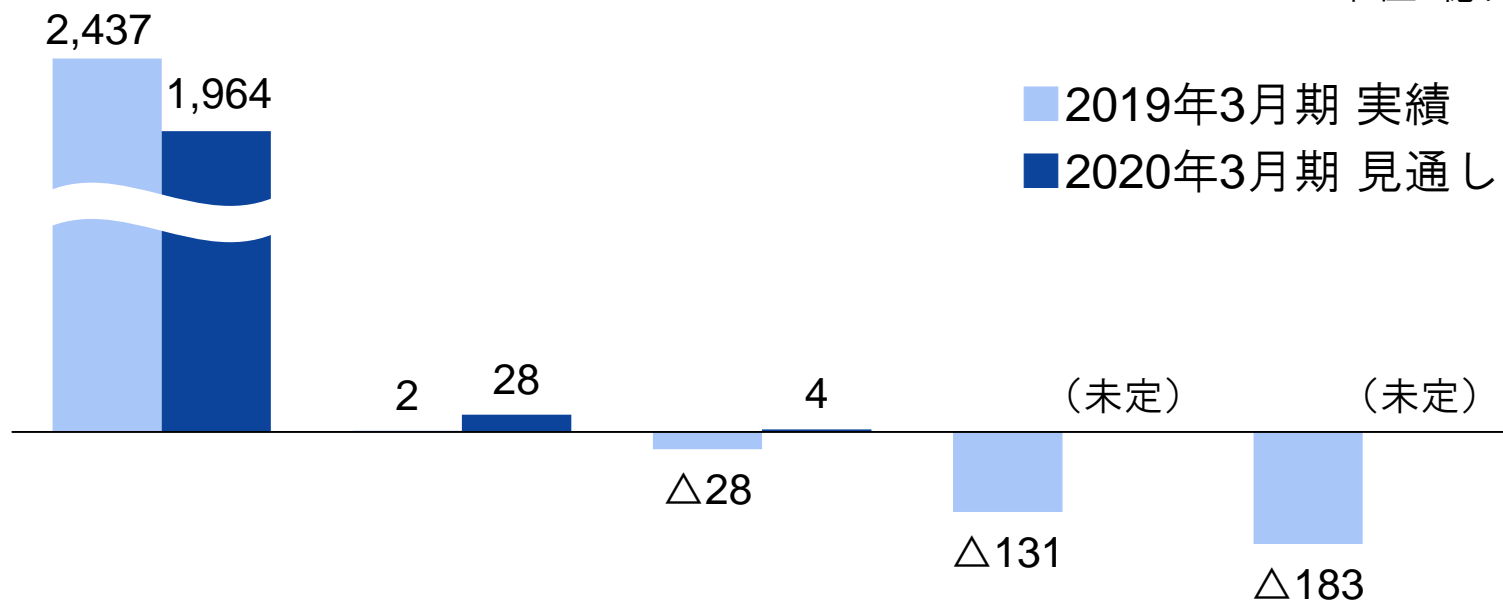


* 税金等調整前四半期純利益

2020年3月期 業績見通し

2020年3月期見通し 連結業績(対前年同期)

単位:億円



	売上高	営業利益	経常利益	税引前 当期純利益 ^{*1}	当期純利益 ^{*2}
2019年3月期	2,437	2	△ 28	△ 131	△ 183
2020年3月期	1,964	28	4	—	—
前年差	△ 473	+ 26	+ 32	—	—

*1 税金等調整前当期純利益

*2 親会社株主に帰属する当期純利益

2020年3月期見通し 連結業績の概況

売上高

日本における主要な完成車メーカーからの受注の減少、補修品事業でのスペアパーツなどの売上減少、また、北米における完成車メーカーの主要車種の新規モデルへの切り替えにともなう売上減少の影響が前期に続き今期はさらに大きくなることなどにより、売上高は前期より473億円減少し、1,964億円となる見込みです。

営業利益

売上高は減少する見込みであるものの、役員報酬及び従業員給与の削減、固定費の削減など、年初より構造改革を進めてきている効果も見込まれることから、前期よりも26億円改善し、28億円となる見込みです。なお、日本における減損損失を20年3月期2Qに計上したことによる下期の減価償却費9億円減少の見込みも含まれています。

当期純利益*

本資料P11に記載のとおり、現時点で特別損益の予想が見通せず、親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想につきましては、引き続き、未定とさせていただきます。事業再生計画の実施状況を踏まえ、改めてお知らせいたします。

* 親会社株主に帰属する当期純利益

2020年3月期見通し 地域別業績(対前年同期)

単位:億円	売上高				営業利益			
	19年3月期 実績	20年3月期 見通し	前年差	為替 換算影響	19年3月期 実績	20年3月期 見通し	前年差	為替 換算影響
日本	772	725	△ 47	-	△ 6	26	+ 32	-
米国	1,184	772	△ 411	△ 8	△ 37	△ 40	△ 3	+ 0
メキシコ	12	21	+ 9	△ 0	△ 4	△ 1	+ 3	+ 0
欧州	158	154	△ 5	△ 9	△ 7	△ 1	+ 6	+ 0
中国	218	167	△ 51	△ 8	23	12	△ 11	△ 1
タイ	79	77	△ 2	+ 2	6	5	△ 0	+ 0
インドネシア	204	206	+ 2	△ 3	24	25	+ 1	△ 0
アジア	501	450	△ 51	△ 9	53	42	△ 11	△ 1
連結消去	△ 190	△ 158	+ 32	-	3	2	△ 1	-
合計	2,437	1,964	△ 473	△ 27	2	28	+ 26	△ 0

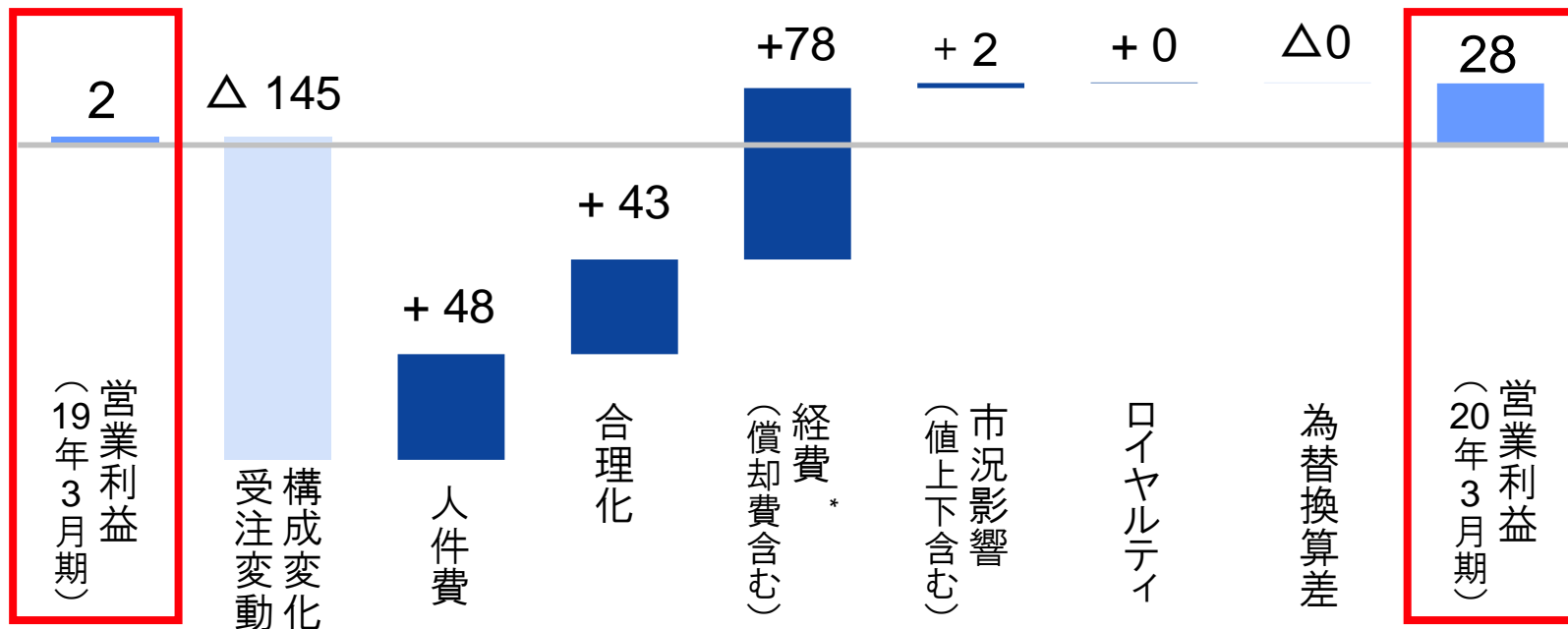
為替 USD:110.4⇒109.2、EUR:128.3⇒121.0、CNY:16.6⇒15.9、THB:3.4⇒3.5、IDR:0.0078⇒0.0077

現地通貨ベース	売上高		
	19年3月期 実績	20年3月期 見通し	前年差
米国: USD mil.	1,073	708	△ 365
メキシコ: USD mil.	11	19	+ 9
欧州: EUR mil.	124	127	+ 3
中国: CNY mil.	1,312	1,053	△ 259
タイ: THB mil.	2,314	2,200	△ 114
インドネシア: IDR bil.	2,610	2,670	+ 60

営業利益		
19年3月期 実績	20年3月期 見通し	前年差
△ 33	△ 37	△ 3
△ 3	△ 1	+ 2
△ 6	△ 1	+ 5
138	74	△ 65
163	147	△ 16
309	327	+ 18

2020年3月期見通し 営業利益増減分析(対前年同期)

単位:億円



日本	Δ 6	Δ 26	+ 28	+ 9	+ 29	+ 0	Δ 8		26
米国	Δ 37	Δ 99	+ 18	+ 24	+ 47	+ 1	+ 6	+ 0	Δ 40
メキシコ	Δ 4	+ 2	Δ 0	+ 2	Δ 1	+ 0	Δ 0	+ 0	Δ 1
欧州	Δ 7	+ 1	+ 2	+ 3	+ 0	+ 0	Δ 1	+ 0	Δ 1
アジア	53	Δ 22	Δ 0	+ 5	+ 3	+ 1	+ 2	Δ 1	42
連結消去	3	Δ 1							2

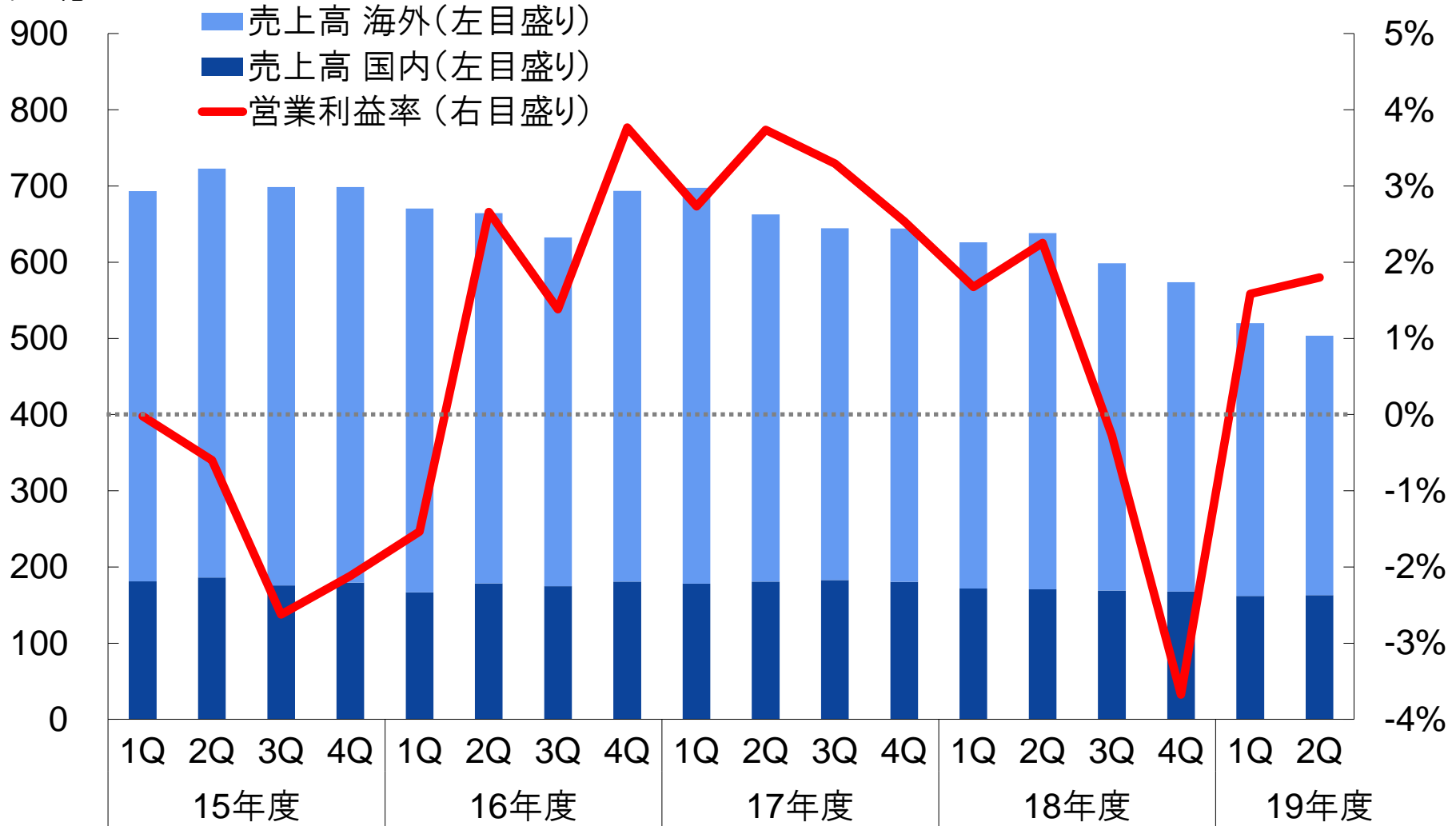
* 経費には開発費用を含む

添付資料

(参考1) 連結業績の推移

四半期ごとの売上高と営業利益率

単位：億円



(参考2) 2020年3月期 地域別業績

四半期ごとの売上高と営業利益

単位:億円	売上高				営業利益			
	1Q	2Q	上期	通期(予)	1Q	2Q	上期	通期(予)
日本	182	185	367	725	5	6	11	26
米国	223	212	435	772	△ 7	△ 4	△ 11	△ 40
メキシコ	3	6	9	21	△ 1	△ 0	△ 1	△ 1
欧州	38	35	73	154	1	△ 0	0	△ 1
中国	43	38	81	167	3	1	4	12
タイ	21	18	39	77	1	1	2	5
インドネシア	52	46	98	206	6	5	11	25
アジア	115	103	218	450	10	7	17	42
連結消去	△ 40	△ 37	△ 77	△ 158	1	1	1	2
合計	520	504	1,024	1,964	8	9	17	28

現地通貨ベース	売上高				営業利益			
	1Q	2Q	上期	通期(予)	1Q	2Q	上期	通期(予)
米国: USD mil.	202	193	395	708	△ 6	△ 4	△ 10	△ 37
メキシコ: USD mil.	3	5	8	19	△ 1	△ 0	△ 1	△ 1
欧州: EUR mil.	31	30	60	127	0	△ 0	0	△ 1
中国: CNY mil.	259	240	500	1,053	16	9	25	74
タイ: THB mil.	589	527	1,116	2,200	34	27	60	147
インドネシア: IDR bil.	660	593	1,253	2,670	77	64	141	327

(参考3) 2019年3月期 地域別業績

前年度の四半期ごとの売上高と営業利益

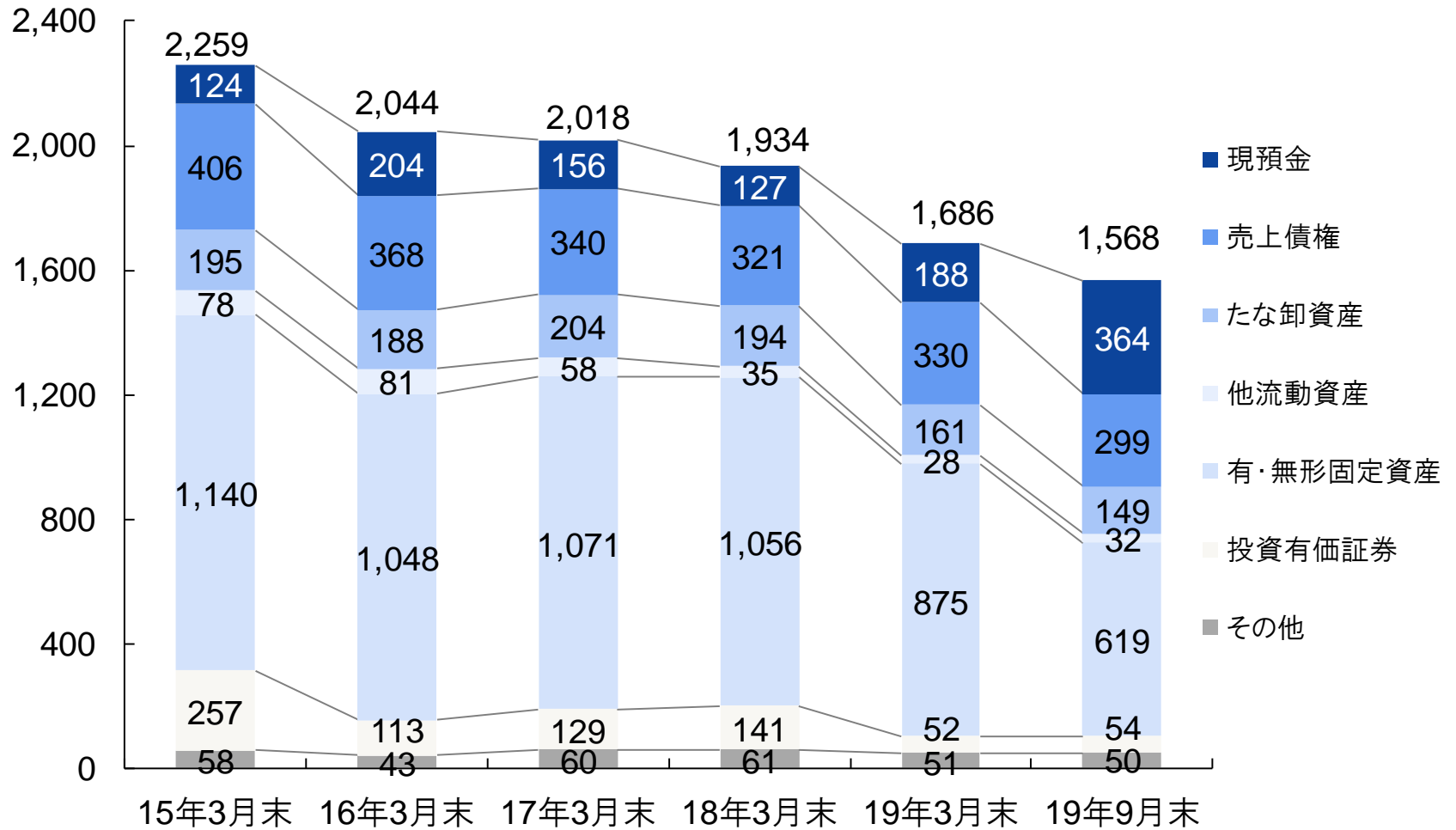
単位: 億円	売上高						営業利益					
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期
日本	195	195	390	193	188	772	△ 2	2	△ 0	△ 2	△ 4	△ 6
米国	310	321	632	285	267	1,184	1	4	5	△ 10	△ 31	△ 37
メキシコ	3	3	6	4	3	12	△ 1	△ 1	△ 2	△ 1	△ 1	△ 4
欧州	40	42	83	42	34	158	△ 2	△ 4	△ 6	△ 2	0	△ 7
中国	55	58	112	53	53	218	6	6	12	5	6	23
タイ	21	20	41	19	19	79	1	1	2	1	2	6
インドネシア	50	49	100	51	53	204	6	6	12	6	6	24
アジア	126	127	253	123	125	501	13	13	26	12	15	53
連結消去	△ 48	△ 50	△ 98	△ 48	△ 43	△ 190	1	1	2	1	1	3
合計	626	638	1,264	599	574	2,437	10	14	25	△ 2	△ 21	2

現地通貨ベース	売上高						営業利益					
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期
米国: USD mil.	289	293	582	254	236	1,073	1	3	4	△ 9	△ 28	△ 33
メキシコ: USD mil.	2	3	5	3	2	11	△ 1	△ 1	△ 2	△ 0	△ 1	△ 3
欧州: EUR mil.	31	33	64	32	27	124	△ 2	△ 3	△ 5	△ 1	0	△ 6
中国: CNY mil.	321	340	661	326	324	1,312	36	36	73	28	37	138
タイ: THB mil.	612	589	1,201	554	559	2,314	35	36	71	26	65	163
インドネシア: IDR bil.	635	625	1,260	669	681	2,610	74	72	147	80	82	309

(参考4) 貸借対照表 資産の部

資産

単位：億円

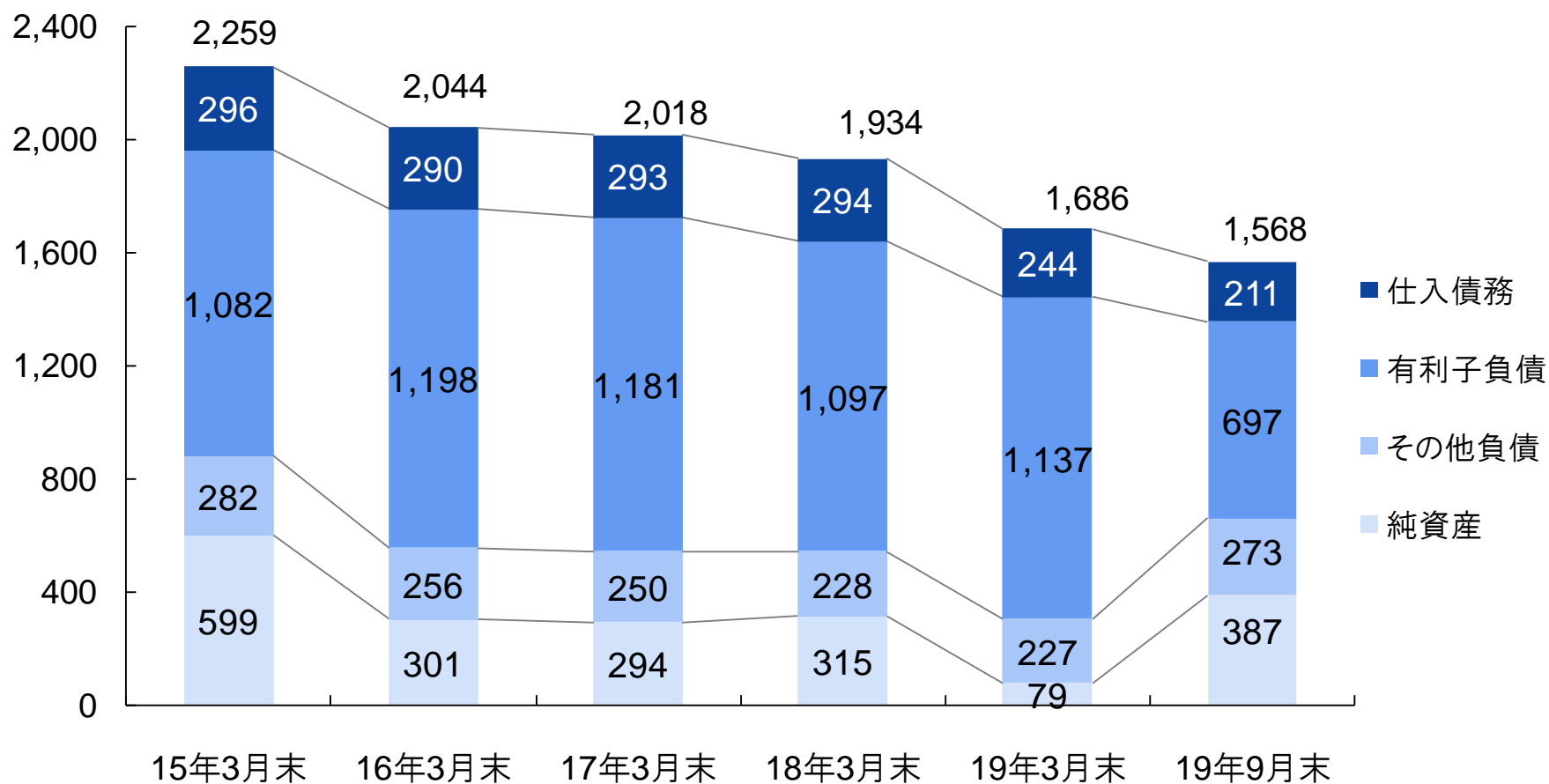


(税効果会計に係る会計基準の一部改正を2018年3月期に遡って適用しています)

(参考5) 貸借対照表 負債・純資産の部

負債・純資産

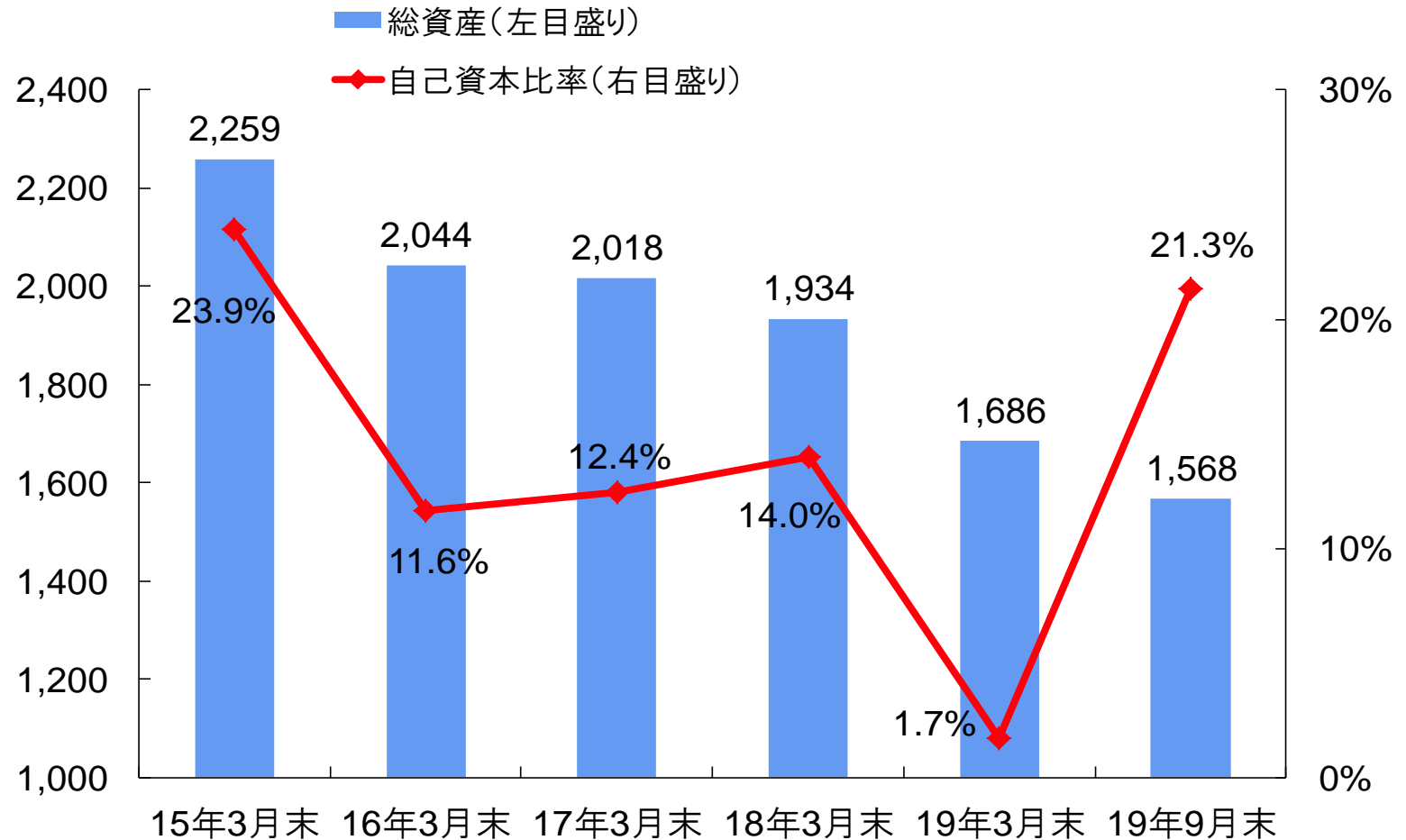
単位：億円



(税効果会計に係る会計基準の一部改正を2018年3月期に遡って適用しています)

(参考6) 総資産/自己資本比率の推移

単位: 億円



(税効果会計に係る会計基準の一部改正を2018年3月期に遡って適用しています)

業績見込み等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいた予測であり、実際の業績は当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因によりこれらの記述とは大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。